

生態園マップ～2025秋編～

＜季節のできごと＞

- しゃじりん いくせいりん しゅるい じゅもく いろいろ お
・社寺林や育成林にはたくさんの種類の樹木があり、色々などんぐりが落ちています。
- せみしぐれ むししぐれ がっしょう はじ
・蝉時雨から虫時雨へ。キリギリスやコオロギ、マツムシなどの合唱が始まっています。
- はら みちぞ じゅもく すこ はや くさもみじ たの
・原っぱや道沿いは樹木より少し早く、草紅葉が楽しめます。



トノサマバッタ



秋の生態園

生態園の秋は、実りの秋でもあります。植物の果実は生き物たちのご馳走にもなります。果樹園のカラタチは、夏にできた果実が黄色に熟します。社寺林や雑木林、

育成林には、ドングリのなるシラカシやコナラの木があります。生態園を散策すると、色々な大きさや形のドングリをみつけられます。

<ドングリとは> ブナ科の樹木になる果実の総称です。実の一部または全体を殻斗と呼ばれる、お椀のようなものに覆われているのが特徴です。

一番外側の固い皮は果皮で、渋皮のなかに種子があります。ドングリは種そのものではなく、果肉のない果実なのです。春に開花受粉し、その年の秋に実をつける1年成

と翌年秋に実をつける年成などがあります。

シラカシ



冬の季節風を防いだり
防火のために、昔から神社
や屋敷のまわりに植えられ
てきました。木材が白っぽい
のでシラカシですが、実は、
比較的色が濃く、タンニンを
多く含んでいて渋いでいます。

コナラ



幹は薪にしたり、シイタケの
ホダ木に、落ち葉は水田に鋤
き込んで、肥料に利用されま
す。その実は、シラカシのドン
グリとよく似ていますが、殻斗
はうろこ模様(鱗片:りんぺ
ん)です。うろこ模様は他にマ
テバシイがあります。



#昆虫図鑑、#野鳥図鑑#花と
植物図鑑etc.. CESS研究員
等が撮影した美しい写真を
ご覧ください。



カラタチ。中国原産で、高さ3mほどになる落葉
低木。4~5月、葉が展開する前に香りのある白い花を
咲かせます。花びらと花びらの間が広くあいている、
可愛らしい花です。枝には、太くて鋭い刺が付いてい
ます。夏には緑色の果実ができ、10月頃には黄色に
熟します。直徑3~5cmの球形で、果肉は香りがよい
のですが、苦くて種子が多く、食用には不向きです。葉
はアゲハチョウの食草になります。



10月頃

ガマ トンボ池の一角にガマが群生しています。フラ
ンクフルトのような部分は“ガマの穂”と呼ばれていま
す。秋に熟すとじけて、白い綿毛を持つ種子が風に
のって飛散、水面に落ちると発芽します。



『因幡の白兔』の神話にもでてくるガマの穂。ガマの
花粉を乾燥させたものは「穂黄」と呼ばれ、生薬として
止血や利尿に使われています。